

下野の農業・栃木の農業を応援しましょう

安心・安全

現在、出荷規制中の栃木県産

農畜産物はありません

栃木県産野菜等の原発事故に伴う出荷制限と解除の状況

▼3月21日【ほうれん草・かき菜：出荷自粛】放射性物質の暫定規制値を上回った「ほうれん草・かき菜」について、原子力災害対策本部から出荷自粛の要請指示

▼3月25日【春菊：出荷自粛】放射性物質の暫定規制値を上回った「春菊」について、栃木県知事から出荷自粛の要請指示

▼4月14日【かき菜・春菊：出荷制限解除】放射性物質の暫定規制値を3回以上連続で下回った「かき菜」について、原子力災害対策本部から出荷制限（出荷自粛）の解除指示。同じく「春菊」についても、放射性物質の暫定規制値を3回以上連続で下回ったため、栃木県知事から出荷自粛要請の取りやめの指示

▼4月21日【高冷地ほうれん草：出荷制限解除】放射性物質の暫定規制値を3回以上連続

を下回り、食品衛生法に適合していることを確認しています（5月6日現在）。

きゅうり・レタス・アスパラガス・いちご・トマト・にら・なす・軟化うど・山うど・みずな・ねぎ・しいたけ・かき菜・春菊・高冷地ほうれん草・ほうれん草・大根・原乳・牛肉・豚肉・鶏卵
県ではモニタリング調査を継続して行い、その結果は速やかに県ホームページにて公表してまいります。

出荷制限の解除に伴う今後の野菜作付について

出荷制限が解除された地域では、通常の営農が可能です。圃場に放置されている野菜は、すき込みをせず、刈り取りをしてから耕うん等の農作業を行ってください。刈り取ったそれらの野菜は、1か所に集めて保管してください。

※なお、出荷制限直前に箱詰めして保管されている野菜や、刈り取って1か所に集めて保管した野菜をどのように処分するのかについては、現在、国において協議中です。

水田土壌調査の結果について

放射性物質の県内水田土壌への影響を把握するため、県内14エリアについて土壌中の放射性セシウムの調査を実施した結果、原子力災害対策本部から示された上限値（5,000 Bq/kg）をすべてのエリアで下回っていました。

このため、**水稲をはじめ畑作物も、通常の作付けを行ってください。**

なお、放射性物質の放出が続いていること等から、今後継続して県内の農作物は収穫時に分析調査を行い、安全性を確認してまいります。

農産物損害の賠償請求について

東京電力(株)福島第一原子力発電所の事故に伴う放射性物質の放出による農産物損害の賠償請求には「被害の申し出（報告）」が必要です。

問 農政課 ☎ 48・2143

「道の駅しもつけ」オープン

3月26日、被災地を気遣いながら「道の駅しもつけ」が静かにオープンしました。

新4号国道の交通量は1日約5万台と大変多く、福島県などから避難する車も少なからずあり途中の休憩所として利用されていると考えています。

また、原発事故による風評被害は本市の農業への影響も心配されましたが、市内で生産された野菜等の好調な売れ行きにより、それを払拭することができました。

震災発生後、被災地や被災者への配慮による自粛ムードが広がっていたためオープン時期の変更を考えましたが、被災地に対する気持ちを忘れることなく、震災前の通常の経済活動ができるよう地域経済の活性化を図りながら被災地の復興を支援することが重要と思われオープンしました。

現在のところ「道の駅しもつけ」の滑り出しは極めて順調です。今後願わくは、被災地支援のイベント開催も行いたいと思います。引き続き市民の皆様のご支援をお願いします。（市長）

県のモニタリング調査結果

○放射性ヨウ素 野菜類：2,000 Bq/kg 原乳：300 Bq/kg 肉・卵：規制値なし
※Bq（ベクレル）とは、放射能の強さを測る単位です。

○放射性セシウム 野菜類：500 Bq/kg 原乳：200 Bq/kg 肉・卵：500 Bq/kg

次の品目について、国の定める放射性物質の暫定規制値